

■ 将来への道筋をつなぐ「施設見学」の系統性

～「点」の見学から、将来を見据えた「線」のつながりへ～

「進路決定の第一歩は見学から始まります」

前号でお伝えした「職業準備性ピラミッド」の土台作りと並び、将来の自立に向け「卒業後の生活や働くイメージ」を早期に育むことは極めて重要です。本校では小学部から高等部、保護者の方まで、それぞれの段階やニーズに合わせた「系統性（見通しとつながり）」を重視した見学・体験プログラムを構築しています。

★点から線へつなぐ本校のステップアップ（系統図）



高等部個別
見学から
現場実習へ

1 年		2 年			3 年		
2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期	1 学期	2 学期	3 学期
		第 1 回現場実習	第 2 回現場実習		第 3 回現場実習	第 4 回現場実習	
見学	見学	チャレンジ	チャレンジ		決める 実習	慣れる 実習	

① PTA 施設見学会

【対象】小・中・高の保護者

【ねらい】広く、浅く、団体で地域の選択肢を概観する

・お子様が小さいうちから、将来の選択肢をまず知っていただくための見学会です。福祉サービス事業所などを団体で巡り、長いスパンでの将来設計をイメージする第一歩とします。

② 中学部 2 年生職場・施設見学会

【対象】中学部 2 年生

【ねらい】実際の社会で働く姿や福祉施設を知る・一歩学校から踏み出し、働く人々の姿や実際の施設に触れます。「世の中には多様な場所や仕事がある」ことを知り、自己理解や将来への興味関心を広げます。

③ 中学部 3 年生高等部見学会

【対象】中学部 3 年生

【ねらい】身近な進路先である「高等部」を知り、見通しを持つ

・身近な進路先である高等部の作業学習や授業を見学します。中学部卒業後の次のステージに具体的なイメージを持ち、今頑張るべき目標や学習への意欲を高めます。

④ 高等部：個別見学

【対象】高等部生

【ねらい】進路決定に向け、個々の実態に深く即した見学を行う

・卒業後のスムーズな移行に向け、本人の特性やニーズ、進路希望にダイレクトに即した見学を個別に行います。実際の職場環境と本人のマッチングを丁寧に見極め、進路を決定します。

【移行支援部より】

子どもたちの豊かな未来を育むためには、学校での学びと卒業後の社会を結ぶ「見通し（系統性）」が大切です。進路決定の第一歩は、実際の様子を「見て」「聞いて」「感じる」－見学－から始まります。各段階に置かれた見学会を一つの目安にいただき、ご家庭でもぜひ将来についてお話しいただく機会にしてください。